

SOSが言えない子どもたち。 ヤングケアラーのためにできること<第1章>

大人が担うような家事やケアの責任を、日常的に引き受けている18歳未満の子どもたち、「ヤングケアラー」。日本には約21万人いるとされていますが、外からは見えづらく、親や当事者がその実態に気付いていない場合も多く、支援が遅れております。近年注目されるヤングケアラーについて知ると共に、子どもたちに何をしてあげられるかいっしょに考えていきましょう。



<第1章>ではヤングケアラーの中でも18歳未満の、家族に精神疾患をもつ子どもたちを中心に上げていきます。講座は単発でも受講できます。

第1回

8/14 (土)

14:00-16:00

学びの場

- ①家族頼みのケア。世代間連鎖の実情・相馬直子／横浜国立大学教授
- ②こどもたちの居場所づくり誕生話・勝呂ちひろ／(一社) Omoshiro
- ③ヤングケアラーだった若者たち・・・西迫 愛／横浜ヤングケアラーヘルプネット
- ④つるみリビングラボ east について・・・神道映利／心理カウンセリング True Colors ナビゲーター 東みちよ (スマート・ウィメンズ・コミュニティ)

※ZOOM開催 (ZOOM をご利用になれない方はご相談ください)

第2回

9/25 (土)

14:00-16:30

体験の場

- ①Omoshiro の居場所づくり (詳細)
- ②わたしの秘密基地づくり体験
- ③ヤングケアラーヘルプネットの活動
定例おしゃべり会に集う元ヤングケアラーたち
- ④横浜から発信する繋がり
の輪
会場：コミュニティ&シェアスペース KOTOBUKI

ここに
注目!

①ヤングケアラーと共に注目される「ダブルケア」。今回はそのダブルケアの名づけ親、横浜国立大学の相馬教授のお話を聴けるチャンスです!!

*ダブルケア

子育てと親の介護などが同時期に重なり合う状況のケア

②制度の間で支援が届かない子どもたちの為に動き出したOmoshiroの挑戦とは!

第3回

10/30 (土)

14:00-16:30

語りの場

- ①当事者の声を聴く
- ②ヤングケアラーの未来を描く

会場：コミュニティ&シェアスペース KOTOBUKI

イベント詳細 <https://fb.me/e/Pvl0qLGx>

●参加費:各回 1000 円

●お申し込み:右記の専用申込フォーム(QR)またはメールで

✉kotobuki.community@gmail.com

①氏名②ふりがな③所属④参加する回⑤メールアドレス⑥電話番号

※タイトルに「ヤングケアラー申込み」と記載願います



リビングラボ 横浜市が掲げる住民、企業、自治体、大学など、様々な主体と共創する対話の場で、各地で輪が広がっています。鶴見では2番目となる拠点が鶴見駅東口側に生まれ、地域課題の“見える化”、“私ごと化”を考える場づくりを目指します。

共催：つるみリビングラボ east 実行委員会／一般社団法人スマート・ウィメンズ・コミュニティ

協力：つるみ LIVING LABO

問合せ：コミュニティ&シェアスペース KOTOBUKI



090-8341-7535 シンドウ

<https://www.facebook.com/KotobukiCommunity>

横浜市鶴見区潮田町 2-98

